

赤十字国際ニュース

2025 年 第 73 号 2025 年 12 月 1 日
(通 巻 第 1779 号)

日本赤十字社 国際部

東京都港区芝大門 1-1-3 TEL 03-3437-7087 / FAX 03-6674-1004

E-mail: kokusai@jrc.or.jp <https://www.jrc.or.jp/>

【NHK 海外たすけあい】 【速報】東南アジアでサイクロンによる被害が発生 ～インドネシア、スリランカ等で赤十字は救援活動を開始～

インドネシアの被害概要

マラッカ海峡付近で発生したサイクロン「センヤール」の影響により、11 月 23 日以降、インドネシア北西部のスマトラ島は豪雨と強風に見舞われ、アチェ州、北スマトラ州、西スマトラ州で洪水や土砂災害が発生しました。当局によると、12 月 1 日までに死者は 502 人、行方不明者は 508 人に上り、約 29 万人以上が避難しています。また、1 万 8 千棟以上の家屋、88 校の教育施設にも被害が及んでいます。アチェ州では、広範囲にわたる燃料不足、食糧不足、停電、浸水が続いているほか、北スマトラ州では、洪水水位が最大 5 メートルに達し、がれきや泥が救助活動の妨げとなっています。被災した州の当局は 11 月 26 日から 14 日間の非常事態宣言を発出しています。

スリランカの被害概要

サイクロン「ディトワ」は 11 月 26 日にスリランカを直撃、暴風雨の影響により、スリランカ全土の 25 地区で深刻な被害をもたらしています。当局によると、11 月 30 日までの死者は 330 人、約 14 万人が避難し、200 人以上が依然行方不明、家屋の倒壊も 2 万戸以上に上ります。送電線の断線や浄水施設の浸水により、国内の約 3 分の 1 で電力・飲料水の供給停止状態が続いてるほか、主要道路が遮断や橋の流失により、救援物資の配付が妨げられ、遠隔地のコミュニティが孤立しています。11 月 29 日にスリランカ政府は全土に非常事態宣言を発出しました。



浸水した地域で支援活動を行うスリランカ赤十字社の職員©Sri Lanka Red Cross

■各国赤十字社の対応

インドネシア赤十字社

インドネシア赤十字社は、アチェ、北スマトラ、西スマトラにおいて 270 人の職員・ボランティアを動員し、被害状況の確認と避難支援を行うほか、応急手当や救急車サービス、水・衛生支援、炊き出し活動、浄水 10,000 リットルの配付、食料品や毛布、シーツ、衣類やベビー用品などの物資を被災された方に届けています（12 月 1 日時点）。



アチェに送られた赤十字の支援物資©Indonesian Red Cross Society

スリランカ赤十字社

スリランカ赤十字社は 3,500 人以上の職員・ボランティアを動員し、被災地区全域で被害状況の確認を行っており、ボランティアチームは被災者の応急手当を実施しています。また、飲料水、食料、衛生用品、タオル、シーツ、洗濯洗剤、乾いた衣類などの生活必需品の配付も開始し、被災された方に支援を行っています（12 月 1 日時点）。



傷の手当てをするスリランカ赤十字社職員©Sri Lanka Red Cross

その他、上記以外の国でも、東南アジア各地において豪雨被害が発生している中、国際赤十字・赤新月社連盟は、各国赤十字社と緊密に連携を取りながら、状況のモニタリングやニーズ把握を続けています。日本赤十字社も、国際赤十字と連携して、ニーズに応じて必要な支援の実施をして参ります。

日本赤十字社は、12月1日より「NHK 海外たすけあい」キャンペーンを実施しています。このキャンペーンでお寄せいただいたご寄付は、世界各地で発生する自然災害などで苦しんでいる人びとのために使われます。皆さまのご支援・ご協力を、どうぞよろしくお願いいたします。

NHK 海外たすけあいキャンペーンの詳細についてはこちら

https://www.jrc.or.jp/international/news/2025/1201_050023.html



人道支援に
空白地帯を
つukらない。
赤十字は、動いてる!

NHK 海外たすけあい 2025年 12月1日(月)～12月25日(木)

 **日本赤十字社**
Japanese Red Cross Society



メールマガジン『赤十字国際ニュース』

赤十字が世界中で行っている人道支援活動の最前線と、それを取りまく最新ニュースをメールでお届けします。

メールマガジンへの登録は、左の画像をクリックしていただくか、二次元コードを読み込んでいただいた先の登録フォームからお願いいたします。

